

企業名： テイ・エス テック株式会社

レポート名： 統合報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

理解できる。具体的には、開発部門や営業部門など機能ごとに SWOT 分析を行い、今後の取り組みを明示している点に説得力があり良い。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

理解できる。知的資本、製造資本、人的資本、財務資本を強調しており、特に特許総合力の高さや連結自己資本比率の高さは、他の企業より優れていることがわかるため優位性があると考えられる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できる。自動車（部品）産業は大きな技術革新が予想されるが、当社は充実した財務基盤を生かした開発が可能であると思われ、将来的な持続・成長が見込める。さらに、省エネや CO2 削減など環境への配慮も精力的に行っていることが伺え、脱炭素が求められる将来にも対応できるであろう。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

あまりそう思わない。45 ページに人材育成についての項目があるが、研修などがあまり充実していないと感じた。しかし、個人の能力に見合った人材評価を行っている点や、労使のコミュニケーションが十分構築されている点は、自身の価値を認識できたり、環境の改善が見込めたりするため評価できる。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

特になし。報告書前半の『価値創造ストーリー』では、図表を多用することで感覚的に魅力を伝える機能を十分発揮している。一方、そこでとらえきれなかった情報が後半につまっているため内容も充実したものとなっており、優れた報告書だと感じる。